活動情報 2　NPO 法人フォトボイス・プロジェクト

（東京都港区）

東日本大震災からまもなく5年。今、被災者の心情や地域社会の課題に寄り添った支援がいっそう求められる。当団体は、被災した女性たちがその経験を写真に撮り、グループで写真について語り合い、「声」（メッセージ）をつくり、パネルにして展示や報告会を開催することなどを通して、マスメディアが伝えない震災の実情を伝えている。

被災した女性たちの写真や「声」を、防災・減災・復興に向けて発信しています

NPO 法人フォトボイス・プロジェクト 代表理事　ゆのまえ 知子（ともこ）

女性の被災経験と防災・復興の課題を伝える

東日本大震災後、避難生活において女性が声を出しづらく困難な状況にあることが予想されたため、2011年5月に女性団体関係者や研究者の有志が、オックスファム・ジャパンの資金提供を受け「東日本大震災女性支援ネットワーク」を設立した。その活動の一環として、被災地の女性グループと協働し、女性の声を記録し、防災・復興の課題を社会に提言するためにフォトボイスの手法を用いた活動を郡山市（福島県）、仙台市（宮城県）、宮古市（岩手県）で実施してきた。より効果的な活動をするために、2012年11月に同ネットワークから独立し、2014年6月に NPO 法人となった。

フォトボイス（photo voice）とは、写真と「声」（メッセージ）という2つの情報媒体によって発信する表現方法である。社会的に発言力の弱い人々の人権向上の手法として開発途上国等で用いられている。被災した女性たちが自ら撮影した写真をもとに、訓練されたファシリテーターを交えて語り合うことで、被災の経験による喪失の痛みや苦しみと向き合い、経験を整理し、力を取り戻していくことを支える社会心理的ケアの役割も担ってきた。

現在、石巻市と女川町（宮城県）で新たなグループが活動を始め、首都圏に避難している女性たちのグループも生まれた。全体で40人が参加している。

撮る・語り合う・発信する

フォトボイスの特徴はグループでの語り合いにあり、「声」の作成は語り合いをもとにしている。グループでは、大型スクリーンに投影した自分やメンバーが撮った写真を改めて眺め、感じたことを語り合う。他のメンバーの異なった視点にふれることで新たな気づきや、相互交流、相互援助が生まれる。メンバーはこの体験を次のように述べている。

- ◆ 写真を撮ることで、自分の気持ちも表現していることがわかった。撮った写真のどれを（投影するか）選ぼうかとなったとき、自分のそのときの状態がわかる。
- ◆ 震災後、携帯で写真を撮るようになったが、ただ溜まっているだけだった。ここで投影して話すことがきっかけで、過去を振り返って気持ちを整理することになった。
- ◆ 写真を投影し皆が色々話してくださることが、私の心の奥を引き出してくれる。自分が言いたかったことがわかっていく良い場所となった。震災後、ここが自分にとってかけがえのないものになっている。

これまで、写真と「声」をパネルにして被災地内外の各地で展示や撮影者の報告会（集い）を開催し、海外ではパリ第7大学やミシガン大学などで翻訳し展示した。反響は撮影者（被災者）たちを力づ

雨の日の朝

雨の日、一人登校する我が子。
福島の小学校へ入学するはず
だったのだが…。
何となく寂しげな後ろ姿・・・
どんな思いで学校へ向かって
いるのだろう。
慣れない土地での生活、親子三
人歩みだしたところである。

マリリン　東京都大田区　2014年4月撮影

写真と「声」の一例

写真をスクリーンに投影し話し合うグループメンバー

け、被災の経験が個人的なことでなく社会的に意味あることとして捉えるきっかけになっている。

2015年3月の国連防災世界会議では、（独）国立女性教育会館と共催し、震災の記録と保存を防災・復興に役立てるワークショップを開催した。各地の撮影者たちも国際会議に参加し、英語で自分の「声」が読み上げられるという新鮮な経験などを通して、国内外の防災・復興に対する写真と「声」の意義を改めて認識することになった。

今後の展開

震災の風化を防いでいくためにも、自主財源の拡充など課題もあるが、今後も国内外の防災・復興に被災者の声を届け、展示や報告会の来場者が防災・復興を自分の課題として考えられるような方法を模索するなど、撮影者たちと共に発信活動を活発化していきたい。

そのために、被災者が本音を言える場としての各地のミーティングを継続させていくサポートを大事にしたい。ファシリテーション研修も実施しているが、グループメンバーが受講し運営にかかわる動きがあるのでその促進を図りたい。また、写真と「声」集の第2集の発行の企画も撮影者たちと検討している。

今こんなことやってます！

- 展示・報告会の開催
- パネルの貸し出し
- 「災害復興支援女性アーカイブ」（国立女性教育会館）・「ひなぎく－震災アーカイブ」（国立国会図書館）掲載内容の充実
- 写真と「声」集 第2集の発行企画
- 刊行物『わたしたちのフォトボイス』（2015年3月刊、1,500円）

DATA

- 代表理事：吉浜美恵子・ゆのまえ知子
- 設立：2011年5月（法人化：2014年6月）
- 住所：〒105-0011
  港区芝公園2-6-8 日本女子会館6階ＯＷＬ
- TEL：080-4331-4041
- E-mail：photovoicejapan@gmail.com
- HP：http://photovoicejapan.jp